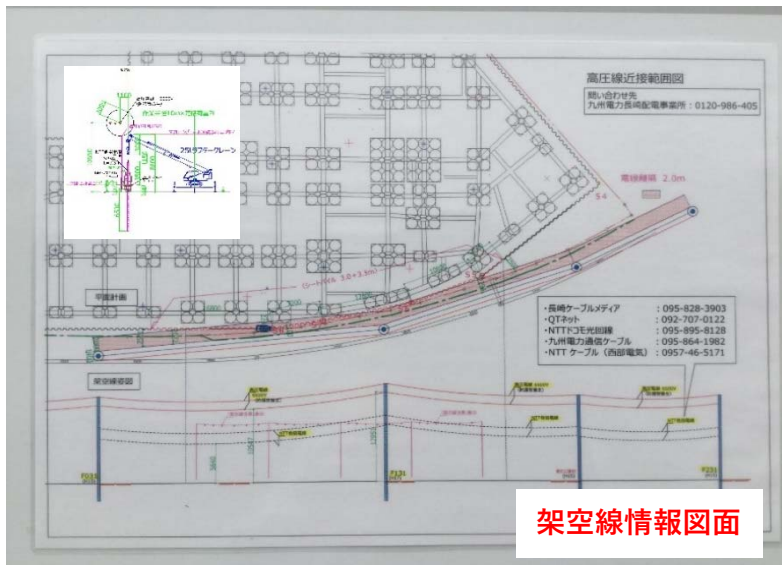


架空線付近での作業におけるリスクの見える化



～クレーンフーム接触防止対策～

○計画

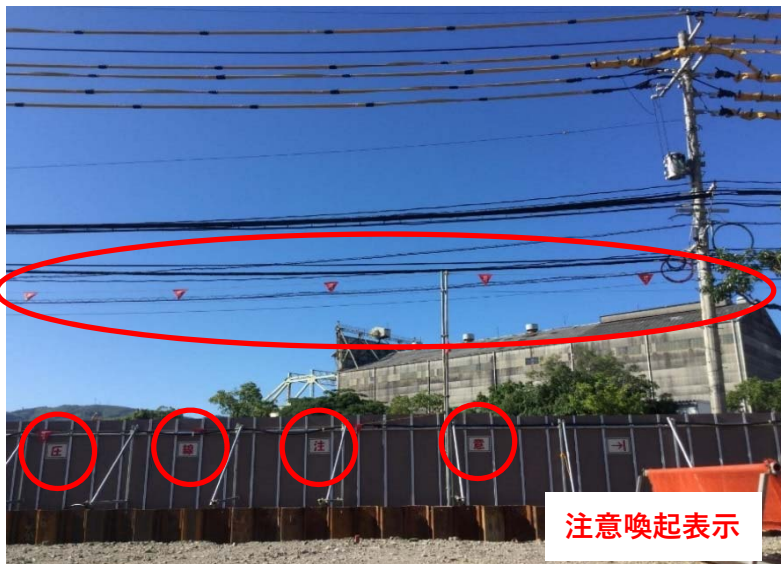
架空線の位置、種類等を調査し
図面に記載する。

各作業ごとに断面図を作図し

高圧線から2mの離隔をとって

架線とクレーンフームの接触防止を図る。

非常時の緊急連絡先も記載する。



○準備

仮囲いに「高圧線注意」の表示を行い
作業員に注意喚起する。

架空線の下に三角旗付きロープを張り
クレーンオペレーターに注意喚起する。



○ソフト面での接触防止措置

フーム制限機能付きのクレーンを使用。

作業前にクレーンフームの

長さ・角度を設定することで

設定以上の長さ・角度にならないように

制限をかけることができる。